

## 太平洋空軍司令官、チーム横田と接見 *Pacific Air Forces commander meets with Team Yokota*

November 20, 2019

By Airman 1st Class Briana E Bolfig  
374th Airlift Wing Public Affairs

太平洋空軍司令官チャールズ・Q・ブラウン大將は11月13日と14日、横田基地を訪れ、空兵の職場および日米の強固な同盟を視察した。

ブラウン大將と共に、妻のシェイリーン・ブラウン夫人、太平洋軍最先任上級曹長アンソニー・ジョンソン最上級曹長と妻ステファニー夫人も横田を訪れ、基地とそのミッションについて理解を深め、地域の安全と安定を確保する上での空兵の重要な役割を強調した。

「太平洋空軍の司令官として、太平洋全域の米軍基地に全身全霊を捧げる覚悟があることを知って欲しい。そのコミットメントを通じ、インド太平洋管内のこの試練かつ重要な時の要求に確実に対応できるよう、全力を尽くす」とブラウン大將は述べた。

太平洋空軍司令官が来日し空兵と接見する今回のツアーで、横田は2つ目の訪問地だった。

「それぞれの任務に邁進している太平洋空軍の空兵の姿を観ることができた。期待通りだっただけでなく、多くの面で期待を超えていたと確信して言える」とブラウン大將は述べ、「空兵たちは、ホスト国の良き隣人であるだけでなく、空軍の信条を真に体現し、米空軍に期待されるプロ意識を持っている」と続けた。

ブラウン大將とジョンソン最上級曹長は、全体集会でチーム横田のメンバーに訓示を行い、今回の訪問を終えた。

「横田基地の諸君、ありがとう。諸君は航空自衛隊と強力な二国関係を維持する鍵だ。日本の同盟国との関係構築、そして訓練と任務に一層励んで欲しい。それによって、横田と太平洋地域国はあらゆる不測の事態に備えられる」とブラウン大將は語った。

